

事業計画書

事業名	ラブライブやってみる？ 沼津仲見世 de まちなか歌声の会 × 演奏会
場所	沼津市大手町 沼津仲見世商店街地内
実施予定期間	平成29年 7月 1日 ~ 平成30年 3月 31日
日程	実施項目・作業項目
	<p>【目的 どのような事業か？】</p> <p>弊社は毎月、沼津仲見世商店街にて「沼津なかみせ歌声カフェ」を開催している。この歌声カフェは、シニアの方々（特に、まだ介護保険を必要としない元気な高齢者）の社会交流、介護予防、認知症予防を目的に始めたものである。毎回、50名～60名程のシニアの方々が参加され、ピアノ演奏に合わせて童謡、唱歌、昭和歌謡曲などを歌ったり、音に合わせて体を動かすなど軽度の介護予防体操を行っている。</p> <p>平成29年5月現在、この歌声の会も30回目を迎える。述べ人数にすると2,000名弱のシニアの方に参加して頂き、沼津シニアの社会交流、介護予防活動のひとつとして寄与してきたと考える。さらに、商店街の一角でイベントを開催することにより、街中のにぎわいづくりにも参画できたのではないだろうか。</p> <p>しかしながら、プログラムのマンネリ化は避けられず、全体的な変化やバージョンアップをさせていく必要性にも迫られている。そもそも、介護予防や認知症予防という枠組みの中で歌を唄い、体を動かし、脳トレやゲームを使った訓練をするだけの行為は、現在のシニア世代には合わなくなってきていることも視野に入れなければならない。65歳以上であっても、「自分はまだ若い」、「介護予防と名の付くプログラムにはまだ参加したくない」と思っているシニアは予想以上に多い。また、先日聞き取り調査した寿大学の皆さんからも、「若者文化を学びたい」、「新しいことにチャレンジしてみたい」、「楽しいと思えるイベントに参加したい」という声が聞かれ、シニア世代の考え方、介護予防のあり方などがパラダイムの転換を迎えている様子も伺える。</p> <p>そこで、今回、この「沼津なかみせ歌声カフェ」を、「シニアのみんなで童謡・唱歌・昭和歌謡曲を唄い、体操もする会」から「年齢問わず集まったみんなで歌を唄い、楽器の演奏を覚え、リズムにのって踊る まちなか歌声の会 × 演奏会」にバージョンアップさせていきたい。</p> <p>目指すは、沼津を賑わすアニメ「ラブライブサンシャイン」の挿入歌を集まった皆で唄い、楽器を演奏し、踊り、沼津シニアが世界一元気であるということ在全世界に発信、アピールすることである（つばき庵仲見世店は、ラブライブサンシャインの聖地。これを活用するのは、今でしょ♡）。</p> <p>【日程・時間】</p> <p>平成29年5月～6月 新プログラムにおける調整、打ち合わせ、広報活動等 平成29年7月～平成30年3月 毎月1回開催（第2又は第3日曜日） 時間は13時30分～15時（途中休憩5分あり）</p> <p>【開催場所】</p> <p>開催場所：沼津仲見世商店街「通所介護つばき庵」他</p> <p>【参加対象】</p> <p>小さな子どもからシニアまで誰でも</p>

【スタッフ配置】

ピアノ伴奏：外部講師として2名（中井紫乃氏／田中みどり氏）

歌声担当：（株）きずなスタッフ2名

楽器担当：（株）きずなスタッフ2名 チューニング担当は外部依頼1名

広報等：（株）きずなスタッフ1名

【プログラム内容】

従来通り、童謡・唱歌・昭和歌謡曲をリクエストに応じて皆で一緒に唄う。歌を唄うだけの歌声喫茶形式は取らず、以下の内容を盛り込む。

- 1) 音楽に合わせた軽度体操（介護予防体操含める）も行う。
- 2) 楽器（かんたんウクレレ）を導入する。
誰もが簡単に演奏できるウクレレ（コードが固定されている）を使用し、歌に合わせて演奏を行う。歌を唄うか楽器を演奏するかの選択は参加者自身に任せる。
- 3) 現在の歌声カフェの曲目（童謡・唱歌・昭和歌謡曲）を急激に変化させるわけにはいかない。まずは歌とかんたんウクレレの音が耳に入ってくる環境に慣れてもらい、少しずつ平成歌謡曲なども取り入れていく。
目指すは、アニメ「ラブライブサンシャイン」の歌を唄い、ウクレレ演奏まで出来るようになること。
- 4) ラブライバー（ラブライブサンシャインをこよなく愛する方たちの総称）に協力を依頼し、歌声の会に参加してもらう機会を設ける。来沼し、聖地巡礼するラブライバーへの新たな話題提供、休憩所提供だけに限らず、音楽を通じた世代間交流も図ることができるのではないだろうか。
* 月一開催の歌声の会に、「ラブライブの歌を唄うために、東京から来ました。」というスタイルがあっても面白いと考える。
- 5) 街中イベントの際に、練習してきた歌や楽器演奏を披露する。

【広報活動】

より多くの方、特にシニア世代にこのイベントを知って頂くために、広報ぬまづでの掲載、寿大学等でのフライヤー配布や告知、地元紙や SNS 等で拡散、広報活動を実施する。

事業効果

<一般論>

- ・ 中心市街地の活性化、交流人口の拡大
- ・ シニアの健康増進活動の促進（一般高齢者のための介護予防運動、脳活性化による認知症予防につながる）
- ・ 一般高齢者の社会交流を促進
- ・ 歌や楽器演奏を媒体とした世代間交流
- ・ シニア世代の余暇活動、生きがい活動に通じるものを形成
- ・ 新しい歌声カフェプログラムを実施することにより、参加人数の増員が予測でき（60名ほど→80～90名の参加が見込める）、街中のにぎわいにもつながる

<本質>

- ・ 高齢者自身のワクワク感の増大→リハビリ的な介護予防運動プログラムを展開するよりも、高齢者自身が楽しみ、ワクワク感を持つことができる活動が一番大事。
- ・ シニアが持つ可能性、元気な沼津シニアをアピールすることができる→魅力的な沼津の発信にもつながる

<p>公益性</p>	<p>シニアだけではなく、子どもから大人までが音楽を通じて交流することが可能である。また、地域住民だけではなく、他の地域に住む者たちが突然参加しても十分対処可能な事業であり公益性がある。</p>
<p>発展性</p>	<p>歌だけの会から、楽器を鳴らす、鳴らしてみろという発展性を持つことにより、参加人数の増大、活動レベルの向上が期待できる。 他に歌声喫茶を行う団体にも楽器を取り入れた活動などを紹介し、連動して活動していける可能性もある。</p>
<p>地域性</p>	<p>つばき庵では、シニアの方たちの居場所を提供したく、月曜日から土曜日までデイサービスの空きスペースを無料開放している。その居場所には、毎日 20~30 人ほどのシニアの方が訪れるが、ほとんどの方が「ゆるく」「しばらく」「集まれる」「何か楽しいこと」を探しているようにも見受けられる。実際、月一回開催される歌声の会にも、居場所に通うシニアたちの殆どが参加している。 歌だけではなく、困難を伴わずワクワク挑戦できるような新しい価値を、地域の中で提供していくことが弊社の務めであるとも考えている。</p>
<p>必要性</p>	<p>魅力的な街づくりとは、子どもと高齢者がどれだけイキイキしているか、生活自体を楽しみとしているかということがキーワードになると考える。中心市街地でシニアがメインとなるイベントを定期開催することは、高齢者自身の外出頻度を高め、自ら元気でいようとする健康の維持、果ては医療費や介護費の抑制にもつながっていく。 また、従来続けてきたことをさらに飛躍させるためには、公的機関からの助言と協力が必要である。</p>
<p>先導性</p>	<p>シニアにも可能性があることを示していきたい。シニアの居場所作りの次は、シニアをメインとした定期イベントの開催。そしてイベント自体のバージョンアップが今回の大目標である。 沼津の観光アピールに繋がるアニメ「ラブライブサンシャイン」を沼津シニアも応援していることをアピールしたら、「沼津＝シニアも元気＝何かわくわくする＝来沼津してみよう、もう一度行ってみよう」ということに繋がる可能性も出てくるだろう。</p>
<p>継続性</p>	<p>定期的なイベントを続けていくためには、新たな創出、出かけて行く価値というもの常々考え、事業そのものをバージョンアップさせていく必要がある。 シニアをメインとする事業については、公的機関が主流で行うものではなく、自由な発想を持つ民間介護事業者だからこそオモシロオカシク、ワクワク感を出していけるはず。弊社はそれを担っていきたい。</p>